2022 年度活動報告書

特定非営利活動法人 P.I.E. GROUP. SANDA

1.活動の成果

「がん罹患者数が少ないまち三田（兵庫）」が近い将来に現実になるように、私たちは 2018 年以来取り組んできた「（1）がん予防の教育と普及事業」と「（2）がん患者や家族を対象とする相談、助言事業」「(3) がん患者や家族を対象とする相談、助言に関するサポーター養成およびセミナー事業」を継続し、5 回目となる「Pink Ribbon Day in SANDA」ならびに「キャンサー・ピア・サポート」は、「専門家にアドバイスが得られるキャンサー・ピア・サポート（全 9 回）」として、「公益財団法人 正力厚生会 2022 年度がん患者団体助成事業」を活用し、「2022 年度 キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー（全 4 回）」は「令和 4 年度キリン・地域のちから応援事業」を活用し開催しました。

今年度は新たに「公益財団法人 大阪コミュニティ財団 大阪スポーツ振興基金助成事業」を活用し「病気予防の運動教室（全 6 回）」を開催しました。また、正会員のスキルアップとピア・サポーター育成を目的とし、「アステラス製薬 ピアサポート研修講師派遣」を活用し「ピア・サポーター研修」を開催しました。

ブログや地元ラジオ局ハニーFM へ奇数月第一火曜日に出演し、情報発信も継続しています。ブログのフォロアーは 150 名を越えました（2022 年 3 月時点）。

2.特定非営利活動に係る事業

（1）がん予防の教育と普及事業

①すべての女性にピンクリボンを！Pink Ribbon Day in SANDA 2022 乳がんを知り、考える日（公益財団法人 正力厚生会 2022 年度がん患者団体助成事業）

この催しは 10 月に世界中で開かれている乳がん予防月間（ピンクリボン月間）にちなみ、女性やそのご家族が健康で豊かな生活を過ごすために、乳がんについて知り、また考えるための集いです。

5 年目を迎えた今回は、昨年に引き続き京都医療センター 乳腺外科診療科長 加藤先生に「化学療法って必要ですか？」について、エビデンスを元に治療法選択時のヒントとして、お話ししていただきました。今まさに治療を開始しようとしているが、化学療法に不安があり治療に進めない人、今の治療に疑問を持っている人から積極的な質問が飛び交い、診察室では、じっくり聞くことのできないお話を加藤先生からいただき、不安が軽減した、治療選択の背中を押してもらったという人がいました。

参加者アンケート自由意見では以下のようなご意見をいただきました。（抜粋）

- がんではないですが、病気で悩んでいるところがあったので加藤先生の“やりながら考える”がとても参考になりました。やってみようと思います。ありがとうございました。
- 癌のお話だけでなく、ワクチン、糖尿病、日本の医療費、海外のお医者さんの資格制度などなど、色々なお話をしてくださり勉強になりました。
- 昨年の予防のお話しに比べ、内容が濃く深く質問をされている方々の切実な気持も伝わってくるような内容でした。加藤先生の医療に対する真摯な姿勢や患者さんを思うお気持ちも伝わってきて、とてもいい講演を聴かせていただきました。ありがとうございます。
- 具体的に数値をもって表現されていましたのでわかりやすかったです。
- 非常にわかりやすいお話しだったと思います。日本に暮らせる有難さを改めて思いました。
- 言うこと聞かない患者さん、お医者さんも大変だなぁと思いました。お医者さんの言うことは実行し聞きたいと思いました。
- 遺伝子検査の重要性について改めて理解する所です。有難うございました。
- QOL VS 延命 、副作用の不安、踏み切れない気持ちモヤモヤに対して、丁寧にご説明いただきありがとうございました。“効くかどうか、副作用が出るかどうかはやってみないとわからない。副作用が重く出たらやめればいい。” のアドバイスで怖がってばかりでなく、やってみようという気持ちになりました。また、新薬のお

話しも希望が持てました。”新薬が日本で承認（保険適応）されるまで何とか、がんを大きくさせずに化学療法を続ける“ そこを目標にやってみようと思いました。ありがとうございました。

実施日時	2022 年 10 月 2 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室、Zoom によるオンライン
参加人数	29 人
参加料収入	2,000 円（一般参加者 4 名x@500 円）

②三田ライオンズクラブ 60 周年記念事業
「がんを知り、考える日 ～全てのがん症例の 30～50%は、予防可能～」

日本人の2人に1人が がんになる時代
がんの早期発見・早期治療という考え方だけではすくい取れない「予防の重要性」という観点をベースに そもそも がんにならないためにはどうしたらよいか、どのような社会が必要なのか当法人の事例や海外の調査・研究を元にご紹介しました。
参加者アンケート自由意見では以下のようなご意見をいただきました。
（抜粋）

- がんは予防ができる
- データに示されたことによってより具体的に「がんを知り考える日」考える機会になりました。
- 具体的数値、データを提示していただいたのでとても説得力があった
- 血糖値の正常→がんのリスク低下
- 全ての報道番組、多くの医者の癌に対するとりあげ方、切り口が違っていたから。
- 政府および医療当局の影響力で人の習慣が変わる、砂糖の取り過ぎに気を付け HbA1c を下げる。
- すべてのガンが糖に要因しているのは意外、HbA1c5.7 からリスクが上がる
- 日本では毎年約 114 万人ががんになっており、死亡者が約 44 万人おられることがわかってびっくりしました、HbA1c についてくわしくわかりました、自己管理を行って行くのに勉強になった。
- タバコの対応においても、日本は対策が遅すぎとの話にはガッカリしました、他の施策も同様な気がしてしかたがない(イカリしかない)
- がんは予防できる、そのために必要なこと
- 糖分のとりすぎ等、食生活に気をつける事と体重管理等
- 癌の早期発見より、癌予防を優先する考え方、マンモグラフィは役に立たない、HbA1c が多くの癌のベース
- コロナで亡くなった人が多いのに驚いた、また多くの費用が使われている
- 色々なデータによるがんとの相関関係
- 個人個人が正しい知識を持つことが大切だと感じました
- 日本人の私達が知らない情報もいろいろ伝えてくださり本当にありがとうございます
- 日本国内の癌に対する報道のポイントとは別の視点からのとらえ方が新鮮!!
- がんについて真剣に考えるいいきっかけになった

実施日時	2023 年 3 月 26 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール、Zoom によるオンライン
参加人数	72 人
参加料収入	0 円

（2）がん患者や家族を対象とする相談、助言事業
専門家にアドバイスが得られるキャンサー・ピア・サポート（公益財団法人 正力厚生会 2022 年度がん患者団体助成事業）

キャンサー・ピア・サポートは、病気に対する悩みや不安、しんどさなど、心の疲れ（ストレス）を軽減し、前向きに毎日を過ごし、病気のストレスと上手に付き合うための集まりです。同じような経験をした人の話を聞くことや誰にも言えない心の奥からこぼれてくる想いを受け止めることで、相談者の気持ちに寄り添い、主体的な意思決定の支援活動です。

今回は、助成金を活用し、経験に基づく相談者同士の語り合いでは対応が難しい、がんを患った個々人が直面する専門的な問題に対し、専門的・実践的なアドバイスができる体制を整え、相談者が抱える問題の早期解決の支援を行うことを目的とし開催しました。

講演内容は、過去のキャンサー・ピア・サポートのよくある質問から「セルフケア」、「お金・制度」、「医療」分野のゲストスピーカー（専門職）を選定し話題提供いただき幅広い分野の知識を得ることができました。

相談者のフィードバックで多かったのは、「〇〇できた（一歩前進できた）」というご意見です。専門家のアドバイスに背中を押してもらい、やってみようという前向きな意思決定の一歩を踏み出せたようです。また、キャンサー・ピア・サポート後、オブザーバー（専門職）から直接支援を受けるケースが数件あり、相談者が抱える専門的な問題の早期解決の力添えができたました。

実施日時	2022 年 5 月 15 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター　多目的ホール
ゲストスピーカー	鍼灸師・気功指導員・介護予防運動指導員　楊　震傑氏
テーマ	自然治癒力を高める呼吸法と気功運動法
参加人数	28 人
参加料収入	4000 円（一般参加者 8 名x@500 円）

実施日時	2022 年 6 月 19 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター　講座室
ゲストスピーカー	社会保険労務士　伊藤貴志氏（伊藤貴志社会保険労務士事務所代表）
テーマ	がん治療時に使える社会保険制度
参加人数	14 人
参加料収入	1000 円（一般参加者 2 名x@500 円）

実施日時	2022 年 7 月 3 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター　講座室
ゲストスピーカー	ファイナンシャルプランナー　大西　寛氏（Living with smile　代表）
テーマ	保険とお金の話
参加人数	11 人
参加料収入	500 円（一般参加者 1 名x@500 円）

実施日時	2022 年 8 月 21 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター　講座室
ゲストスピーカー	鍼灸師　竹内　勇人氏
テーマ	自分で出来るツボ押し健康法
参加人数	11 人
参加料収入	500 円（一般参加者 1 名x@500 円）

実施日時	2022 年 9 月 11 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター　講座室
ゲストスピーカー	上級相続診断士　大西　寛氏（Living with smile　代表）

テーマ	人生をゆたかにするエンディングノートの書き方
参加人数	10 人
参加料収入	1000 円(一般参加者 2 名x@500 円)

実施日時	2022 年 10 月 30 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
ゲストスピーカー	薬剤師 濱名 則子氏(神戸海星病院 薬剤部 部長)
テーマ	薬剤師とお話してみませんか?
参加人数	12 人
参加料収入	0 円

実施日時	2022 年 11 月 20 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
ゲストスピーカー	医師 粟根 雅章氏(澤外科 医院長)
テーマ	胃がんと大腸がんの今
参加人数	8 人
参加料収入	500 円(一般参加者 1 名x@500 円)

実施日時	2022 年 12 月 4 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
ゲストスピーカー	緩和ケア認定看護師 森 裕紀子氏 (在宅ホスピス イル・ケア 所長)
テーマ	病気の向き合い方と緩和ケア
参加人数	9 人
参加料収入	2000 円(一般参加者 4 名x@500 円)

(3) がん患者や家族を対象とする相談、助言に関するサポーター養成およびセミナー事業(令和 4 年度「キリン・地域のちから応援事業」)

2022 年度における四回のキャンサー・ピア・サポーター養成セミナーでは、文章作成、教育、当事者活動のマネージメントやプロデュースといった様々な領域の専門家からのご指導を頂くことができた。それにより参加者一人ひとりが、がん患者とその家族を対象とする相談支援事業が地域社会に果たす役割の広さや大きさについて知り、キャンサー・ピア・サポーターの重要性について理解し、今後の活動の幅を広げるための見聞を広げたり、学びやトレーニングによる対応力の向上を実現することができました。

一連のセミナーを通じて、相談支援事業の運営の実際を知ることで、傾聴と共感とを通じて、「同じ立場」で相談者の意思決定を支えるキャンサー・ピア・サポーターの役割とその意義について深く考える機会をもつことができました。がんの罹患をきっかけに生ずる悩みは、疾患そのものと同時に、仕事や心理、経済状況、人間関係といった様々な領域において同時的に起こりうる。それだけに、医療者や家族への相談とは異なる形で、当事者同士が相談できる場所があることは、がんに罹っても安心して生活できる社会形成のために重要な取り組みであることを改めて理解することができました。このような学びが、問題の広がりや複雑さへの総合的な理解力や相談者の意思決定を尊重できるピア・サポーターの資質を養成し、活動を促進するものと考えます。

実施日時	2022 年 8 月 7 日/10 月 23 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
内容	第一回:綴り方講座「エッセイ編」 & 第二回:続編 講師:橋口 丈志氏 専門家による二回にわたる書き方指導と受講生の作品への添削と講評を通じて、できるだけ丁寧に、また冷静に自分の経験を見つめるための表現方法を学ぶことができました。病の経験を含む経験を表現として残すことは、自分や他者の経験を聴き取り、またその意味を様々な視点から汲み上げ、意味あるものに繋ぎ合わせる相談支援の仕事において重要な役割を果たすことについて学べました。
参加人数	14 人/6 名
参加料収入	0 円

実施日時	2023 年 2 月 12 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室 Zoom によるオンライン
内容	第三回：がん教育の事例のなかで考える経験談の意義 講師：中村 典子氏 がん対策基本法の改正を受けて、2020年度以降、国や地方自治体の施策として、小中高校生を対象とするがん教育が学習指導要領に取り入れられることになった背景や現場の活動の詳細について学ぶことができました。また、がんに罹患していない子どもにがん経験について伝えるための準備や、教育に果たす役割についてお話いただいた。
参加人数	8 名
参加料収入	0 円

実施日時	2023 年 2 月 26 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室 Zoom によるオンライン
内容	第四回：ピア・サポーターの社会的役割と意義：名古屋市がん相談センターの事例を交えて 講師：花井 美紀氏 全国で初めて、自治体と NPO が協働して、がん患者さんとそのご家族のための相談支援に取り組んでいる、名古屋市がん相談情報サロン ピアネットの活動紹介と、それを踏まえて、キャンサー・ピア・サポーターの社会に果たす役割とその意義について講師と共に考えることができました。特に、国のがん対策や基本計画を参考にがん相談支援者の公共的役割の大きさについて改めて学ぶことができました。
参加人数	9 名
参加料収入	0 円

4.その他（外部団体とのつながり）

（1）ラジオ出演（ハニーFM）

奇数月の第一火曜日に出演しています。

今年度は 5 回出演しました。講演いただいた、橋口先生、栗根先生にもご出演いただきました。

実施日時	2022 年5月3日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	P.I.E.GROUP.SANDA の 2021 年度の活動報告と 2022 年度の予定について アーカイブリンク：https://fm822.com/archives/37082

実施日時	2022 年 7 月 5 日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	2021 年度キャンサー・ピア・サポーター養成セミナーの振り返りと今年度の企画（綴り方講座）紹介（出演協力：清風学園 読書・論文指導部主事 橋口丈志先生） アーカイブリンク：https://fm822.com/archives/38153

実施日時	2022 年9月 6 日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	抗がん剤治療（化学療法）についてアンケートの結果と体験談 アーカイブリンク：https://fm822.com/archives/39090

実施日時	2022 年 11 月 1 日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ
内容	胃がんと大腸がんの今（出演協力：澤外科 栗根雅章先生） アーカイブリンク：https://fm822.com/archives/40135

実施日時	2023 年 3 月 7 日
実施場所	ハニーFM 第一スタジオ

内容	人生会議 アドバンス・ケア・プランニング（出演協力：澤外科 栗根雅章先生） アーカイブリンク：https://fm822.com/archives/42481

3. 事業実施体制

（1）会議に関する事項

①臨時総会

開催日時	2022 年 9 月 23 日 13:30～15:30
実施場所	三田市まちづくり協働センター 会議室
議事内容	9/11 に発生した、コンプライアンス事案についての説明 再発防止ならびに当方人の今後の活動について
出席者	9 名（うち委任者 4 人 ※正会員総数 12 人）

②通常総会 6 月

開催日時	2023 年 6 月 25 日～6 月 28 日
実施場所	書面決議
出席者	12 名（※正会員総数 12 人）

②定例会 5 回

開催日時	2022 年 5 月 15 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール
議事内容	1：本日のふりかえり 「専門家にアドバイスが得られるキャンサー・ピア・サポート」 2：助成金事業 「病気予防の運動教室」6/11 開催役割分担 「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」進捗状況 5：News Letter Vol.9 発送 6：ハニーFM 出演（7/5） 7：その他 8：次回 定例会

開催日時	2022 年 6 月 19 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
議事内容	1：本日のふりかえり「専門家にアドバイスが得られるキャンサー・ピア・サポート」 2：助成金事業 「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」進捗状況 「病気予防の運動教室」8/7 開催役割分担 6：ハニーFM 出演（7/5） 7：その他 8：次回 定例会

開催日時	2022 年 8 月 21 日 講座室
実施場所	三田市まちづくり協働センター 多目的ホール
議事内容	1：本日のふりかえり「専門家にアドバイスが得られるキャンサー・ピア・サポート」 2：助成金事業 「病気予防の運動教室」9/11 開催役割分担 「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」進捗状況 6：ハニーFM 出演（9/6） 7：その他 3：Pink Ribbon Day2022 7：その他

	8:次回 定例会

開催日時	2022 年 10 月 2 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
議事内容	1:本日のふりかえり Pink Ribbon Day2022 2:助成金事業 「専門家にアドバイスが得られるキャンサー・ピア・サポート」10/30 役割分担 「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」進捗状況 「病気予防の運動教室」11/20 開催役割分担 6:ハニーFM 出演(11/1) 7:その他 8:次回 定例会

開催日時	2022 年 12 月 4 日
実施場所	三田市まちづくり協働センター 講座室
議事内容	1:本日のふりかえり「専門家にアドバイスが得られるキャンサー・ピア・サポート」 2:助成金事業 「キャンサー・ピア・サポーター養成セミナー」進捗状況 「病気予防の運動教室」3/19 開催役割分担 「三田ライオンズクラブ 60 周年記念事業」について 6:ハニーFM 出演(3/7) 7:その他 8:次回 定例会

(2) 事務局体制

事務局長:エリス シェイーン

事務局スタッフ: 西澤 真則

(3) 会員

①正会員 12 名

②賛助会員 0 名

③一般会員 8 名

法人名：　特定非営利活動法人P.I.E. GROUP. SANDA

活動計算書

2022年4月1日から　2023年3月31日まで

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 経常収益			
1. 受取会費			
正会員受取会費	8,000		
賛助会員・一般会員受取会費	24,000	32,000	
2. 受取寄付金			
受取寄付金	73,100		
資産受贈益（図書券）	8,000		
施設等受入評価益	124,320		
ボランティア受入評価益	580,800		
	0	786,220	
3. 受取助成金等			
正力厚生会助成金	120,000		
大阪コミュニティ財団助成金	100,000		
令和4年度「キリン・地域のちから応援事業」	300,000	520,000	
4. 事業収益			
事業収益（参加費）	20,000		
自主事業収益（参加費）	4,000		
共催費（三田ライオンズクラブ）	11,466		
	0	35,466	
5. その他収益			
受取利息	2		
雑収益	0	2	
経常収益計			1,373,688
Ⅱ 経常費用			
1. 事業費			
（1）人件費			
役員報酬	0		
給料手当	0		
ボランティア評価費用	436,800		
法定福利費	0		
人件費計	436,800		
（2）その他経費			
施設等受入評価益	124,320		
印刷製本費	22,450		
会議費	0		
旅費交通費	40,310		
通信運搬費	46,804		
消耗品費	20,530		
保険料	6,550		
支払手数料	812		
広告宣伝費	79,215		
交際費	187,219		
その他（キリン）	83,803		
その他経費計	**612,013**		
事業費計		**1,048,813**	
2. 管理費			
（1）人件費			
役員報酬	0		
人件費計（ボランティア評価費用	144,000		
	144,000		
（2）その他経費			
印刷製本費	3,485		
会議費	0		
旅費交通費	0		
通信運搬費	44,564		
消耗品費	18,090		
保険料			
租税公課			
支払手数料			
雑費			
その他経費計	**66,139**		
管理費計		**210,139**	
経常費用計			**1,258,952**
当期経常増減額			**114,736**
Ⅲ 経常外収益			
1. 過年度損益修正益		0	
経常外収益計			0
Ⅳ 経常外費用			
1. 過年度損益修正損		0	
経常外費用計			0
税引前当期正味財産増減額			**114,736**
法人税、住民税及び事業税			0
当期正味財産増減額			**114,736**
前期繰越正味財産額			80,242
次期繰越正味財産額	96,354	98,624	**194,978**

法人名： 特定非営利活動法人P.I.E. GROUP. SANDA

貸借対照表

2023年　3月　31日現在

（単位：円）

科　目	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	29,068		
未収金	0		
棚卸資産（貯蔵品 図書券）	8,000		
前払金	0		
ボランティア活動助成金 特定資産	157,910		
流動資産合計		194,978	
2. 固定資産			
（1）有形固定資産			
建物	0		
車両運搬具	0		
什器備品	0		
有形固定資産計	0		
（2）無形固定資産			
ソフトウエア	0		
無形固定資産計	0		
（3）投資その他の資産			
事業用指定預金	0		
差入保証金	0		
長期前払費用	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			194,978
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
前受会費	0		
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
Ⅲ 正味財産の部			
前期繰越正味財産		80,242	
当期正味財産増減額		114,736	
正味財産合計			194,978
負債及び正味財産合計			194,978

法人名：特定非営利活動法人P.I.E. GROUP. SANDA

財務諸表の注記

1.重要な会計方針

財務諸表の作成は、ＮＰＯ法人会計基準（2010年7月20日　2017年12月12日最終改正ＮＰＯ法人会計基準）
によっています。

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
棚卸資産の評価基準は原価基準により、評価方法は総平均法によっています。

(2) 施設の提供等の物的サービスを受けた場合の会計処理
施設の提供等の物的サービスを受入れは「３．施設の提供等の物的サービスの受入の内訳」
として注記しています。

(3) ボランティアによる役務の提供
ボランティアによる役務の提供は、活動計算書に計上しています。また計上額の算定方法は、
「2. 活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳」
として注記しています。

2.施設の提供等の物的サービスの受入れの内訳

施設の提供等の物的サービスの受入れの状況は以下の通りです。

（単位：円）

内　　容	金額	算　　定　　方　　法
三田市まちづくり協働センター利用料	124,320	三田市まちづくり協働センター市内標準使用料により算定しています。

3.活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の内訳

活動の原価の算定にあたって必要なボランティアによる役務の提供の状況は以下の通りです。

（単位：円）

内　　容	金　　額	算　　定　　方　　法
定例会、議事録作成、会計処理、事務作業、ホームページ、SNS等更新運営管理	144,000	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
キャンサー・ピア・サポート（正力厚生会助成金）イベントスタッフ	168,000	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
病気予防の運動教室（大阪コミュニティ財団助成金）イベントスタッフ	124,800	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
キャンサー・ピア・サポーター養成セミナーイベントスタッフ（キリン助成金）	28,800	単価は兵庫県の最低賃金によっています。
がんを知り考える日イベントスタッフ（三田ライオンズクラブ共催）	115,200	単価は兵庫県の最低賃金によっています。

4.使途等が制約された寄付等の内訳

使途等が制約された寄付等の内訳は以下の通りです。当法人の正味財産は194,978円ですが、
そのうち157,910円は「がん患者や家族を対象とする相談、助言に関するサポーター養成および
セミナー事業」に使用される財産です。したがって、使途の制約されていない正味財産は37,068円です。

（単位：円）

内　　容	期首残高	当期増加額	当期減少額	期末残高	備　　考
令和4年度「キリン・地域のちから応援事業」	0	300,000	142,090	157,910	がん患者や家族を対象とする相談、助言に関するサポーター養成およびセミナー事業実施のための助成金
合　　計	0	300,000	142,090	157,910	

5.固定資産の増減内訳

固定資産はありません。

6.借入金の増減内訳

借入金はありません。

7.役員及びその近親者との取引の内容

役員及びその近親者との取引はありません。

8.その他ＮＰＯ法人の資産、負債及び正味財産の状態並びに正味財産の増減の状況を明らかにするために必要な事項

必要な事項はありません。

法人名： 特定非営利活動法人P.I.E. GROUP. SANDA

財産目録

2023年　3月　31日現在

（単位：円）

科　目・摘　要	金　額		
Ⅰ 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金			
手許現金	△ 13,807		
普通預金 ゆうちょ銀行	200,785		
未収金	0		
棚卸資産（貯蔵品 図書券）	8,000		
前払金	0		
ボランティア活動助成金 特定資産	0		
流動資産合計		194,978	
2. 固定資産			
（1）有形固定資産			
建物	0		
車両運搬具	0		
什器備品			
パソコン　0台	0		
有形固定資産計	0		
（2）無形固定資産			
ソフトウエア	0		
無形固定資産計	0		
（3）投資その他の資産			
事業用指定預金	0		
差入保証金	0		
長期前払費用	0		
投資その他の資産計	0		
固定資産合計		0	
資産合計			194,978
Ⅱ 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	0		
前受金	0		
短期借入金	0		
流動負債合計		0	
2. 固定負債			
長期借入金	0		
固定負債合計		0	
負債合計			0
正味財産			194,978